

むずかしい漢字とことば

環境省(かん・きょう・しょう) 絶滅危  
惧種(ぜつ・めつ・き・ぐ・しゅ) = 絶滅の  
おそれのある生物種 傾向(けい・こ  
う) パック詰(づ)め 含(ふく)めて  
指摘(し・てき) 違法(い・ほう) 看  
過(かん・か) = あることを目にしてい  
ながら、そのままほうっておくこと。見  
逃すこと 規制(き・せい) = 決まりを  
つくって活動を制限すること 漁獲  
(ぎょ・かく) 養殖(よう・しょく) 据  
(す)え 状況(じょう・きょう) 枠(わ  
く) 放棄(ほう・き) 免(まぬか)れ  
薄利多売(はく・り・た・ばい) = 値段を  
安くして、たくさんの品物を売ってもう  
ける売り方 扱(あつか)い 販売  
(はん・ばい) 履歴(り・れき) = その  
人がこれまでに経験してきたことが  
ら。経歴 恐(おそ)れ 違法(い・ほう)  
示唆(し・さ) = それとなく教える  
こと 締約(てい・やく) = 条約や契約  
(けい・やく)を結ぶこと。また、その条  
約や契約 透明(とう・めい) 契機  
(けい・き) = きっかけ、動機

# 核心 評論

2013年に環境省が  
二ホンウナギを絶滅危惧  
種に指定してから5年。  
ウナギの減少傾向は深刻  
だ。にもかかわらず今夏  
も土用の丑の日にはパッ  
ク詰めのかば焼きがスー  
パーに大量に並び、専門  
店はもちろん、コンビニ  
やファストフード店を含  
めて大量のウナギが消費  
される姿は変わらない。  
専門家から不十分だと

指摘される水産庁の資源  
管理方針に改善は見られ  
ず、違法取引が横行する  
実態も変わらない。  
これ以上、ウナギの危  
機が深まるのを看過し続  
けることは許されない。  
二ホンウナギをワシント  
ン条約の国際取引規制の  
対象とし、国内の漁業と  
取引にも同様の規制を導  
入するという強力な対策  
が必要だ。

## 丑の日のウナギ

# ワシントン条約規制を

水産庁などによると、  
今期のシラスウナギの漁  
獲量は8・9斗で、13年  
に次ぐ低レベル。中国、  
台湾などの漁獲も少な  
く、回復の兆しはない。  
だが、水産庁が資源管  
理策として定めている養  
殖池に入れるシラスウナ  
ギの量の上限は21・7斗  
と5年連続で据え置かれ  
た。この間、実際の池入  
れ量がこの上限に達した  
ことはなく、今年に至っ  
ては上限の3分の2だ。  
規制は何の意味もなさ  
ず「シラスウナギ取り放  
し」の状況が続いている。  
今やウナギ資源は大量

うになり、大量生産・大  
量消費、薄利多売のウナ  
ギビジネスが定着したこ  
とだ。国際環境保護団体  
グリーンピースの調査  
で、丑の日前後にウナギ  
が大量に捨てられていた  
ことも判明した。  
国際的に取引される二  
ホンウナギは、絶滅の恐  
れがある野生生物に関す  
るワシントン条約でも重  
要な議題だ。条約の委員  
会には、日本国内外でシ  
ラスウナギの密漁や無報  
告漁業、違法取引が横行  
していることを示唆する  
報告書が提出された。  
世界最大のウナギ消費  
国の責任から、日本政府  
こそが、来年の締約国会  
議で二ホンウナギをワシ  
ントン条約の規制対象種  
にするよう提案し、透明  
性が高く、持続的なウナ  
ギ消費実現の契機とすべ  
きなのだが、今の水産庁  
にそれは期待できない。  
消費者や業界関係者が  
声を上げ、政治家がリー  
ダーシップを発揮するこ  
とを期待したい。(共同  
通信編集委員 井田徹  
治)

## 持続的な消費へ不可欠

消費ができるようなレベ  
ルにはない。消費者は「安  
いウナギをたくさん食べ  
たい」という意識を捨て  
ねばならない。  
絶滅危惧種なのだか  
ら、取り扱いをやめたり、  
販売量を減らしたり、生  
産履歴が明確なものだけ  
を扱う、といった対策が  
業者には求められる。だ  
が、この種の姿勢を明確  
にしているのはイオンだ  
けだ。  
国際的に取引される二  
ホンウナギは、絶滅の恐  
れがある野生生物に関す  
るワシントン条約でも重



新聞記事を読んで、2字以上の漢字からできている熟語を見つけよう。

【問1】漢字2字の熟語を五つ

【問2】漢字3字の熟語を五つ

【問3】漢字4字以上の熟語を五つ

※熟語の成り立ちについて、それぞれ調べてみると、いくつかの仲間分けもできますよ。友達と協力して調べてみるのも面白いね。

新聞記事を読んで、2字以上の漢字からできている熟語を見つけてみよう。

【問1】漢字2字の熟語を五つ

大量、消費、指摘、改善、横行、実態、危機、など

【問2】漢字3字の熟語を五つ

環境省、専門店、専門家、水産庁、養殖池、上限値、漁獲枠、国際的、など

【問3】漢字4字以上の熟語を五つ

絶滅危惧種、減少傾向、資源管理方策、違法取引、国際取引規制、大量生産、大量消費、薄利多売、国際環境保護団体、生産履歴、など

※熟語の成り立ちについて、それぞれ調べてみると、いくつかの仲間分けもできますよ。友達と協力して調べてみるのも面白いね。